

6 世 帯

— 一般世帯の1世帯当たり世帯人員は2.13人で減少が続く —

世帯総数は662,694世帯で、前回調査から67,181世帯（11.3%）増加し、世帯人員は1,425,512人で、前回調査から98,501人（7.4%）増加しました。1世帯当たり世帯人員は2.15人で、前回調査から0.08人減少しています。このうち、一般世帯の世帯数は660,400世帯で、前回調査から67,822世帯（11.4%）増加し、世帯人員は1,408,632人で、前回調査から96,464人（7.4%）増加しました。1世帯当たり世帯人員は2.13人で、前回調査から0.08人減少しています。施設等の世帯の世帯数は2,294世帯で、前回調査から198世帯（9.4%）増加し、世帯人員は16,880人で、前回調査から2,896人（20.7%）増加しました。1世帯当たり世帯人員は7.36人で、前回調査から0.69人の増加となりました。

平成2年調査からの推移をみると、一般世帯は世帯数、世帯人員ともに一貫して増加していますが、核家族化の進行や単独世帯の増加により、世帯数の増加率が世帯人員の増加率を上回っているため、1世帯当たり世帯人員は一貫して減少しています。（表26）

表 26 世帯の種類別世帯数と人員の推移

年次別 区 別	総 数			一 般 世 帯			施 設 等 の 世 帯		
	世帯数	世帯人員	1世帯 当たり 世帯人員	世帯数	世帯人員	1世帯 当たり 世帯人員	世帯数	世帯人員	1世帯 当たり 世帯人員
	実 数								
平成 2年	466 084	1 173 603	2.52	462 553	1 163 401	2.52	1 323	7 640	5.77
7年	503 711	1 202 820	2.39	501 504	1 193 788	2.38	1 372	8 093	5.90
12年	543 088	1 249 905	2.30	539 836	1 239 557	2.30	2 539	9 472	3.73
17年	595 513	1 327 011	2.23	592 578	1 312 168	2.21	2 096	13 984	6.67
22年	662 694	1 425 512	2.15	660 400	1 408 632	2.13	2 294	16 880	7.36
	増 加 率 (%)								
7年	8.1	2.5	△ 0.13	8.4	2.6	△ 0.14	3.7	5.9	0.13
12年	7.8	3.9	△ 0.09	7.6	3.8	△ 0.08	85.1	17.0	△ 2.17
17年	9.7	6.2	△ 0.07	9.8	5.9	△ 0.09	△ 17.4	47.6	2.94
22年	11.3	7.4	△ 0.08	11.4	7.4	△ 0.08	9.4	20.7	0.69
	区 の 実 数								
川 崎 区	105 586	217 328	2.06	104 010	214 138	2.06	1 576	3 190	2.02
幸 区	70 680	154 212	2.18	70 581	152 987	2.17	99	1 225	12.37
中 原 区	117 190	233 925	2.00	117 067	232 258	1.98	123	1 667	13.55
高 津 区	101 753	217 360	2.14	101 677	215 286	2.12	76	2 074	27.29
宮 前 区	92 164	218 867	2.37	92 005	216 101	2.35	159	2 766	17.40
多 摩 区	103 595	213 894	2.06	103 446	210 907	2.04	149	2 987	20.05
麻 生 区	71 726	169 926	2.37	71 614	166 955	2.33	112	2 971	26.53

(注) 総数には世帯の種類「不詳」を含みます。1世帯当たり世帯人員の増加率は増加数(ポイント)。

一 区別の一般世帯の1世帯当たり世帯人員は宮前区が2.35人で最も多い

区別に1世帯当たり人員をみると、宮前区と麻生区が2.37人で最も多く、反対に中原区が最も少なく2.00人、次いで川崎区と多摩区が2.06人となっています。一般世帯は、宮前区が2.35人で最も多く、次いで麻生区の2.33人、最も少ないのは中原区の1.98人、次いで多摩区の2.04人となっています。また、一般世帯の1世帯当たり人員を前回調査と比べると、全ての区で減少しています。(表26)

一 世帯人員1人の世帯が増加

一般世帯の世帯人員別の構成比をみると、1人世帯が42.5%（前回比2.9ポイント増）で最も高く、次いで2人世帯が24.0%（同0.7ポイント減）、3人世帯が16.5%（同0.3ポイント減）、4人世帯が13.0%（同1.0ポイント減）となり、1人世帯の割合が大幅に増加しており、平成2年調査と比べると7.0ポイント上昇しています。

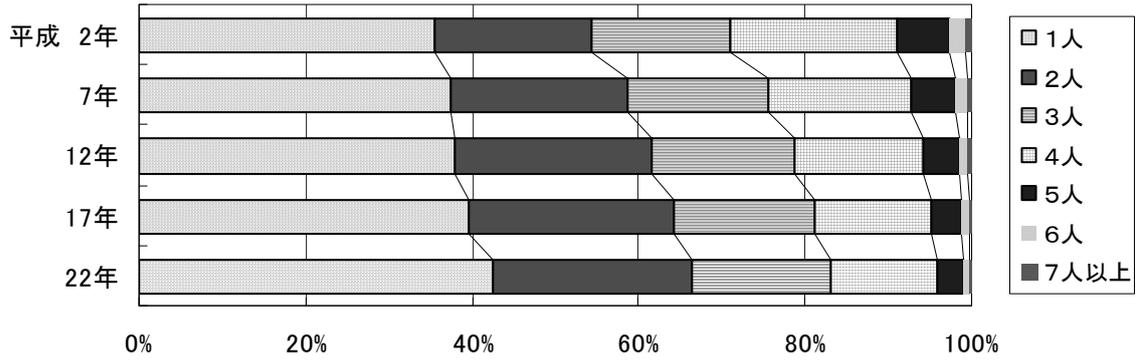
前回調査からの増加率をみると、1人世帯が19.6%増、2人世帯が8.0%増、3人世帯が10.0%増、4人世帯が3.0%増と世帯人員が4人以下の世帯では増加しているのに対し、5人以上の世帯ではいずれも減少しています。

区別の世帯人員別の割合をみると、全ての区で1人世帯が最も高く、次いで2人世帯、3人世帯と世帯人員が増えるほど割合が減少しています。1人世帯の割合が最も高いのは中原区(48.9%)で、次いで川崎区と多摩区(47.0%)の順になっています。(表27・図12)

表 27 世帯人員別一般世帯数

年次別 区 別	総数	世帯人員 が1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
実 数								
平成 2年	462 553	164 408	86 637	77 112	93 533	29 015	8 661	3 187
7年	501 504	187 770	106 760	84 880	86 055	25 909	7 508	2 622
12年	539 836	205 266	126 604	93 118	83 197	23 534	6 088	2 029
17年	592 578	234 651	146 536	99 302	83 092	21 964	5 359	1 674
22年	660 400	280 630	158 205	109 250	85 600	20 769	4 494	1 452
構 成 比 (%)								
平成 2年	100.0	35.5	18.7	16.7	20.2	6.3	1.9	0.7
7年	100.0	37.4	21.3	16.9	17.2	5.2	1.5	0.5
12年	100.0	38.0	23.5	17.2	15.4	4.4	1.1	0.4
17年	100.0	39.6	24.7	16.8	14.0	3.7	0.9	0.3
22年	100.0	42.5	24.0	16.5	13.0	3.1	0.7	0.2
増 加 率 (%)								
平成 7年	8.4	14.2	23.2	10.1	△ 8.0	△ 10.7	△ 13.3	△ 17.7
12年	7.6	9.3	18.6	9.7	△ 3.3	△ 9.2	△ 18.9	△ 22.6
17年	9.8	14.3	15.7	6.6	△ 0.1	△ 6.7	△ 12.0	△ 17.5
22年	11.4	19.6	8.0	10.0	3.0	△ 5.4	△ 16.1	△ 13.3
区 の 構 成 比 (%)								
川 崎 区	100.0	47.0	22.2	14.9	11.3	3.4	0.9	0.3
幸 区	100.0	39.9	26.0	17.2	12.7	3.2	0.8	0.3
中 原 区	100.0	48.9	22.1	14.6	11.2	2.5	0.5	0.2
高 津 区	100.0	43.1	23.6	16.7	12.8	3.0	0.6	0.2
宮 前 区	100.0	32.8	26.4	19.7	16.5	3.7	0.7	0.2
多 摩 区	100.0	47.0	22.7	14.8	11.8	3.0	0.6	0.2
麻 生 区	100.0	33.1	26.7	19.7	16.0	3.6	0.7	0.2

図 12 一般世帯の世帯人員別割合の推移



— 単独世帯が4割を超える —

一般世帯数660,400世帯のうち、世帯主と親族関係にある者のみの「親族のみの世帯」は371,214世帯（一般世帯数の56.2%）、世帯主と親族関係にない者を含む「非親族を含む世帯」は8,500世帯（同1.3%）、「単独世帯」は280,630世帯（同42.5%）となっています。

「親族のみの世帯」のうち、「核家族世帯」は341,516世帯（一般世帯数の51.7%）で、そのうち「夫婦のみの世帯」は114,906世帯（同17.4%）、「夫婦と子供から成る世帯」は181,210世帯（同27.4%）、「男親と子供から成る世帯」は7,101世帯（同1.1%）、「女親と子供から成る世帯」は38,299世帯（同5.8%）となっています。また、「核家族以外の世帯」は29,698世帯（同4.5%）となっています。（表28）

表 28 家族類型別一般世帯数

区 別	総 数	親族のみの世帯							非 親 族 を 含 む 世 帯	単 独 世 帯
		総 数	核 家 族 世 帯				核家族以 外の世帯			
			総 数	夫 婦 の み	夫 婦 と 子	男 親 と 子		女 親 と 子		
世 帯 数										
全 市	660 400	371 214	341 516	114 906	181 210	7 101	38 299	29 698	8 500	280 630
川 崎 区	104 010	53 704	47 634	15 558	23 858	1 338	6 880	6 070	1 398	48 890
幸 区	70 581	41 686	38 090	13 068	19 154	909	4 959	3 596	741	28 153
中 原 区	117 067	57 995	53 389	18 899	28 147	940	5 403	4 606	1 807	57 255
高 津 区	101 677	56 577	52 398	17 532	28 162	1 022	5 682	4 179	1 276	43 818
宮 前 区	92 005	60 974	57 143	18 356	31 748	1 080	5 959	3 831	825	30 189
多 摩 区	103 446	53 012	48 624	16 561	25 840	1 048	5 175	4 388	1 834	48 597
麻 生 区	71 614	47 266	44 238	14 932	24 301	764	4 241	3 028	619	23 728
構 成 比 (%)										
全 市	100.0	56.2	51.7	17.4	27.4	1.1	5.8	4.5	1.3	42.5
川 崎 区	100.0	51.6	45.8	15.0	22.9	1.3	6.6	5.8	1.3	47.0
幸 区	100.0	59.1	54.0	18.5	27.1	1.3	7.0	5.1	1.0	39.9
中 原 区	100.0	49.5	45.6	16.1	24.0	0.8	4.6	3.9	1.5	48.9
高 津 区	100.0	55.6	51.5	17.2	27.7	1.0	5.6	4.1	1.3	43.1
宮 前 区	100.0	66.3	62.1	20.0	34.5	1.2	6.5	4.2	0.9	32.8
多 摩 区	100.0	51.2	47.0	16.0	25.0	1.0	5.0	4.2	1.8	47.0
麻 生 区	100.0	66.0	61.8	20.9	33.9	1.1	5.9	4.2	0.9	33.1

(注) 総数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

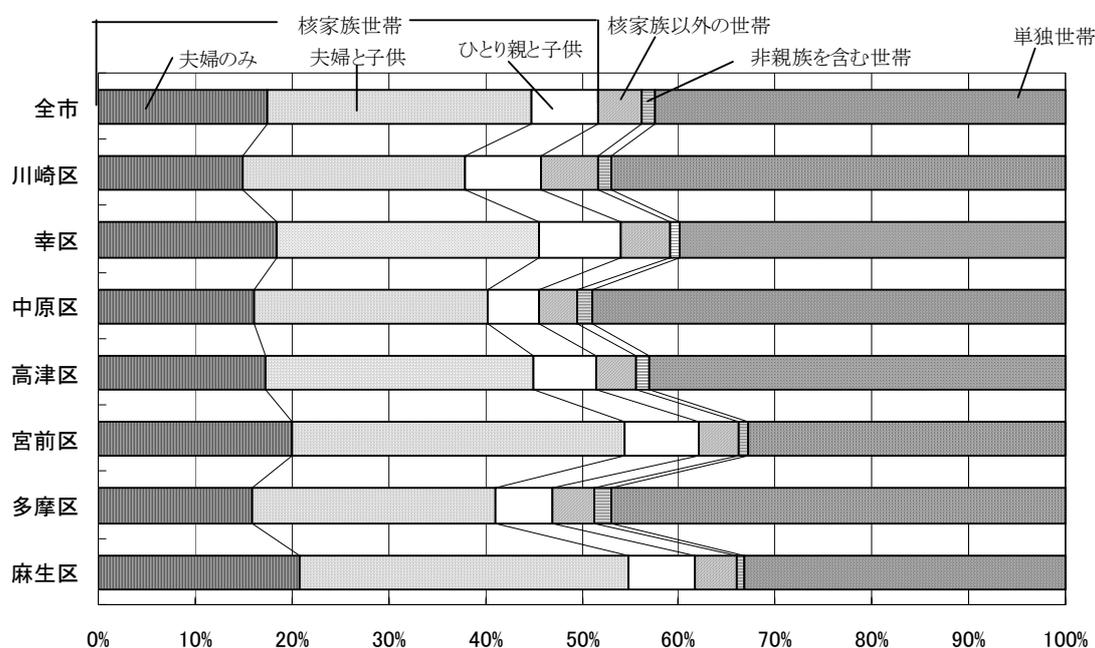
一単独世帯は中原、多摩、川崎、高津と4つの区で4割を超える一

区別に一般世帯の家族類型別割合をみると、「親族のみの世帯」の割合は、宮前区が66.3%、麻生区が66.0%と高く、最も低いのは中原区の49.5%となっています。

「核家族世帯」の割合は、宮前区が62.1%、麻生区が61.8%と6割を超えているのに対し、中原区は45.6%、川崎区は45.8%、多摩区が47.0%と3区で5割を下回っています。核家族世帯のうち、「夫婦のみの世帯」の割合が高いのが麻生区20.9%と宮前区20.0%で2割を超え、「夫婦と子供から成る世帯」の割合が高いのも同じく宮前区34.5%と麻生区33.9%で3割を超えています。一方、「男親と子供から成る世帯」の割合が高いのが川崎区と幸区の1.3%、「女親と子供から成る世帯」の割合が高いのも、幸区7.0%と川崎区6.6%となっています。

また、「単独世帯」の割合が最も高いのは、中原区の48.9%で、次いで川崎区と多摩区の47.0%、高津区の43.1%で、最も低いのは宮前区の32.8%となっています。(表28・図13)

図13 区別、一般世帯の家族類型別割合



－母子世帯、父子世帯ともに減少－

母子世帯の世帯数は5,123世帯、父子世帯の世帯数は710世帯となりました。世帯数の推移をみると、平成7年調査では母子世帯も父子世帯も減少し、平成12年～17年は母子世帯も父子世帯も増加していましたが、今回の調査では前回調査と比べて、母子世帯は1,016世帯（16.5%）、父子世帯は247世帯（25.8%）それぞれ減少しました。

6歳未満及び18歳未満親族のいる世帯をみると、それぞれ母子世帯は857世帯と4,675世帯、父子世帯は55世帯と611世帯となり、いずれも前回調査より減少しています。

区別にみると、母子世帯、父子世帯ともに川崎区（1,068世帯、153世帯）が最も多く、麻生区（454世帯、61世帯）が最も少なくなっています。特に川崎区の母子世帯は、麻生区の約2.35倍になっています。（表29・30）

表 29 母子世帯の世帯数及び世帯人員

年次別 区 別	母 子 世 帯				
	世帯数	世帯人員	1世帯当 たり人員	(再掲) 6歳未満世帯員 のいる世帯	(再掲) 18歳未満世帯員 のいる世帯
	実		数		
平成 2年	4 404	11 333	2.57	599	…
7年	4 187	10 733	2.56	763	3 729
12年	5 145	13 508	2.63	1 106	4 712
17年	6 139	16 097	2.62	1 262	5 677
22年	5 123	13 134	2.56	857	4 675
	増		加		
	率 (%)				
7年	△ 4.9	△ 5.3	△ 0.4	27.4	…
12年	22.9	25.9	2.4	45.0	26.4
17年	19.3	19.2	△ 0.1	14.1	20.5
22年	△ 16.5	△ 18.4	△ 2.2	△ 32.1	△ 17.7
	区		の 実 数		
川 崎 区	1 068	2 786	2.61	206	999
幸 区	669	1 729	2.58	97	600
中 原 区	623	1 566	2.51	98	570
高 津 区	830	2 142	2.58	141	742
宮 前 区	861	2 188	2.54	142	795
多 摩 区	618	1 576	2.55	98	558
麻 生 区	454	1 147	2.53	75	411

表 30 父子世帯の世帯数及び世帯人員

年次別 区 別	父 子 世 帯				
	世帯数	世帯人員	1世帯当 たり人員	(再掲) 6歳未満世帯員 のいる世帯	(再掲) 18歳未満世帯員 のいる世帯
	実		数		
平成 2年	1 079	2 752	2.55	73	…
7年	865	2 184	2.52	74	728
12年	899	2 291	2.55	86	764
17年	957	2 443	2.55	80	814
22年	710	1 791	2.52	55	611
	増		加		
	率 (%)				
7年	△ 19.8	△ 20.6	△ 1.0	1.4	…
12年	3.9	4.9	0.9	16.2	4.9
17年	6.5	6.6	0.2	△ 7.0	6.5
22年	△ 25.8	△ 26.7	△ 1.2	△ 31.3	△ 24.9
	区		の 実 数		
川 崎 区	153	376	2.46	15	133
幸 区	74	182	2.46	5	63
中 原 区	82	205	2.50	9	75
高 津 区	116	297	2.56	8	99
宮 前 区	121	313	2.59	7	103
多 摩 区	103	263	2.55	10	87
麻 生 区	61	155	2.54	1	51

－母親と子供から成る世帯の割合は20大都市で最も低い－

20大都市の一般世帯数の家族類型別割合をみると、「核家族世帯」の割合が最も高いのは、堺市の63.1%となり、反対に最も低いのは、東京都区部の44.9%となっています。本市は51.7%で6番目に低くなり、全国の56.3%を下回りました。

核家族世帯のうち「夫婦のみの世帯」の割合は、最も高いのが北九州市の21.2%で、最も低いのが福岡市の15.1%となっています。本市は17.4%で6番目に低くなり、全国の19.8%を下回りました。「夫婦と子供から成る世帯」の割合は、最も高いのがさいたま市の33.5%で、最も低いのが大阪市の21.4%となっています。本市は27.4%で11番目に低くなり、全国の27.9%を下回りました。「男親と子供から成る世帯」の割合は、最も高いのが相模原市の1.4%で、最も低いのが福岡市の0.9%となっており、本市は1.1%で3番目に低くなり全国の1.3%を下回りました。「女親と子供から成る世帯」の割合は、最も高いのが堺市の8.9%で、本市は5.8%で最も低い割合となりました。

また、「核家族以外の世帯」の割合が最も高いのは、浜松市の14.6%となり、最も低いのは東京都区部の4.1%となりました。本市は東京都区部に次いで低い4.5%となりました。

「単独世帯」の割合が最も高いのは東京都区部の49.1%で、次いで福岡市の47.7%、大阪市の47.4%となりました。反対に最も低いのは浜松市の28.4%、次いで静岡市の28.9%となりました。本市は42.5%で5番目に高くなりました。(表31)

表 31 20大都市別一般世帯数の家族類型別割合

都市別	総数	親族のみの世帯							非親族世帯	単世帯	独帯
		総数	核家族世帯				核家族以外の世帯				
			総数	夫婦のみ	夫婦と子	男親と子		女親と子			
構 成 比 (%)											
全 国	100.0	66.6	56.3	19.8	27.9	1.3	7.4	10.2	0.9	32.4	
札 幌 市	100.0	59.5	55.0	20.8	24.8	1.1	8.3	4.5	1.1	39.3	
仙 台 市	100.0	58.2	50.8	17.2	25.5	1.0	7.1	7.4	1.2	40.6	
さいたま市	100.0	67.2	60.9	19.4	33.5	1.3	6.7	6.2	0.9	31.7	
千 葉 市	100.0	65.2	59.9	20.7	31.2	1.3	6.6	5.3	0.8	32.5	
東京都区部	100.0	49.1	44.9	16.1	21.5	1.1	6.2	4.1	1.4	49.1	
川 崎 市	100.0	56.2	51.7	17.4	27.4	1.1	5.8	4.5	1.3	42.5	
横 浜 市	100.0	65.1	60.2	20.4	31.7	1.3	6.8	4.9	0.9	33.8	
相 模 原 市	100.0	64.5	58.6	19.2	31.3	1.4	6.7	6.0	1.3	34.2	
新 潟 市	100.0	68.7	54.2	18.2	27.1	1.2	7.6	14.5	0.7	30.6	
静 岡 市	100.0	70.1	56.7	19.7	27.8	1.4	7.9	13.4	0.9	28.9	
浜 松 市	100.0	71.0	56.4	19.2	29.2	1.2	6.7	14.6	0.5	28.4	
名 古 屋 市	100.0	58.3	52.1	18.1	25.9	1.2	6.9	6.2	1.0	40.7	
京 都 市	100.0	55.7	49.5	17.0	24.0	1.2	7.3	6.2	1.1	42.9	
大 阪 市	100.0	51.3	46.6	16.2	21.4	1.2	7.9	4.7	1.2	47.4	
堺 市	100.0	69.1	63.1	21.1	31.7	1.4	8.9	6.1	0.7	30.1	
神 戸 市	100.0	62.1	57.1	20.3	27.9	1.2	7.8	5.0	0.7	36.9	
岡 山 市	100.0	63.1	54.3	18.9	27.2	1.1	7.2	8.7	0.9	36.0	
広 島 市	100.0	62.4	57.1	20.1	28.9	1.1	7.0	5.4	0.7	36.9	
北 九 州 市	100.0	64.3	57.5	21.2	26.2	1.3	8.7	6.9	0.8	34.6	
福 岡 市	100.0	51.0	46.4	15.1	23.2	0.9	7.2	4.6	1.2	47.7	